

<p>市政モニターに関すること 総務市民局広聴課 担当：森部、南谷 TEL：093-582-2527</p>	<p>アンケート内容に関すること 港湾空港局計画課 担当：高丸、福重 TEL：093-321-5967</p>
---	--

令和7年11月28日

令和7年度 第6回市政モニターアンケート
「北九州市の海辺に関する意識調査」
結果概要

北九州市港湾空港局では、港や海辺などの臨海部の賑わい創出に向けた取り組みを行っています。

そこで、今後の取り組みの参考とするため、北九州市の海辺に関する意識調査についてのアンケート調査を実施しました。

I 調査概要

調査対象者 市政モニター102人（うち、回答者89人 回収率87.3%）
調査実施日 令和7年8月21日～令和7年9月2日
実施方法 インターネット調査

II 調査結果概要

（1）北九州市の海辺の利用状況と満足度

この1年間で市内の海辺を訪れた方は84.3%と高く、特に「若戸大橋周辺」(52.8%)、「門司港・和布刈」(51.7%)が主要な訪問先でした。

海辺や港に対する満足度について、「非常に満足」と「満足」の合計は約5割(47.1%)を占め、「不満」と「非常に不満」の合計は1割未満(2.2%)となりました。

不満の理由としては、「きれいな海が少ない」「公共交通機関でのアクセスが困難な場所が多い」といった意見が挙がりました。

（2）「場の提供」に関する市民意識

市民が気軽に訪れることができる場所が「十分にある」と感じている意見は、約6割(62.9%)でした。

海辺の緑地や公園の整備が、地域の特性を「活かしている」と感じている意見は、約5割(52.8%)でした。

一方で、海辺に行く際の交通経路が「分かりにくい」と感じている意見は、約6割(59.6%)でした。

海辺の緑地や公園の整備内容に市民意見が「反映されていない」と感じている意見は、約6割(61.8%)でした。

（3）「機会の提供」に関する市民意識

北九州市の海辺に「あまり出かけない」「ほとんど出かけない」との意見は、約6割(55.0%)でした。

海辺に出かけるきっかけとして、「定期的に開かれる朝市やマルシェ」(57.1%)、「海鮮グルメが食べられる施設」(53.1%)、「地域の特産を活かした新しい海鮮グルメ」(46.9%)へのニーズが高いことが示されました。

海辺でのイベントが「充実していない」と感じている意見は、約7割(66.3%)でした。

今後参加したいイベントとしては、「花火」「夜の港を楽しむイベント」「海鮮グル

イベント」「海辺での野外音楽フェス」がそれぞれ4割以上で高く、イベント以外では「定期的に開かれる朝市やマルシェ」(50.6%)、「海産物や海の特産品が購入できる施設」(46.1%)、「地域の特産を活かした新しい海鮮グルメ」(46.1%)への期待が高いです。

海や港について学ぶ機会に「恵まれている」と感じている意見は、約6割(55.0%)でした。

海辺の資源が、まちのにぎわいづくりに「活かされていない」と感じている意見は、約5割(51.7%)でした。

(4)「情報の提供」に関する市民意識

海辺に関する施設やイベントの情報が「すぐに手に入らない」と感じている意見は、約7割(68.6%)でした。

海辺の魅力が市民に「十分に伝えられていない」と感じている意見は、約8割(76.4%)でした。

市民活動への参加経験は、「知らない」(57.3%)と「知っているが参加したことはない」(32.6%)を合わせて約9割(89.9%)と低い結果でした。

海辺での安全対策や心構えに関する知識が「十分に提供されていない」と感じている意見は、約7割(65.1%)でした。

(5)「環境を守る」に関する市民意識

海辺が多様な生物が生息する美しい環境が「保たれている」と感じている意見は、約5割(52.8%)でした。

海辺の環境保護に向けた市民・NPO・企業・行政の取り組みが「進んでいない」と感じている意見は、約5割(50.6%)でした。

海辺の環境について学ぶ機会に「恵まれている」と感じている意見は、約5割(51.7%)でした。

北九州市民の海辺環境保護に対する意識が「高くない」と感じている意見は、約6割(64.1%)でした。

(6) 情報収集とニーズ

旅行や買い物などで情報を入手する際は、「ホームページ」(66.3%)、「市政だより」(56.2%)、「テレビ」(52.8%)、「Instagram」(43.8%)が上位でした。

海辺に関する情報については「市政だより」(48.3%)、「テレビ」(32.6%)、「北九州市ホームページ」(30.3%)が主な情報源ですが、「見たことがない」も24.7%ありました。

市民が発信を希望する情報として、「イベントの広報」(65.2%)、「観光スポット」(59.6%)、「海辺付近のお食事処の情報」(55.1%)、「遊ぶことができる場所」(51.7%)が高い割合を占めました。

(7) 門司港レトロ地区の現状と課題

回答者全員が門司港レトロ地区を訪れた経験があり、過去1年以内にも約6割(59.6%)が来訪しています。

滞在時間は「1時間以内」と「1～3時間」を合わせて約8割(84.2%)と短く、来訪目的は「食事」(64.0%)、「観光」(59.6%)が中心でした。

改善が必要な点として、「観光スポットの充実度」(52.8%)、「飲食店やショッピングの選択肢」(41.6%)、「交通アクセス」(28.1%)「施設の設備」(28.1%)が上位に挙がりました。

魅力向上に向けた自由意見では、歴史的景観の徹底と新たな施設導入、多様な飲食店の誘致、イベント強化、交通・駐車場の改善、周辺地域との連携強化などが提案されました。

(8) 北九州市の海辺づくりへの自由意見

門司港レトロを核とした観光魅力向上策(新施設、連携)や、交通アクセス・施設整備の改善、体験型イベントや交流機会の創出、積極的な情報発信とブランドイメージ確立、安全・快適な環境の維持と向上が重要な提言として寄せられました。